

★今週の聖句

「わたしの羊を飼いなさい。」

ヨハネによる福音書 21:17

★ねらい

- ・ イエス様からわたしたちに与えられた使命があることを受けとめる。

★説教作成のポイント

- ・ イエス様は一番弟子であるシモン・ペトロに三度、「わたしを愛しているか」と「わたしの羊を飼いなさい」と言われた。ただの確認ではなく、シモン・ペトロが心からイエス様に与えられた使命を受けとめるために大事な問いかけだったことに重点を置きたい。

★豆知識

- ・ 愛するか：イエス様の問いかけははじめの二回「アガペー」の愛で尋ねる。それに対してペトロは「フィレイン」の愛で答えている。三度目にイエス様はペトロに対して「フィレイン」の愛で尋ねる。それはイエス様の側からの近寄りである。また、三度にはシモン・ペトロが三度「イエス様を知らない」と言ったことが暗示される。三度イエス様に愛されているかと問われた時、ペトロは自分の罪に気づき、悲しくなりながらも宣教の道を示し、与えられた。

★説教

十字架にかかれたイエス様はお弟子さんたちと一緒に時間を過ごしました。その中でシモン・ペトロという一番弟子にこう尋ねました。「シモン・ペトロ、誰よりもわたしを愛しているか」と。ペトロさんは自信をもって「愛しています」と答えました。でも、イエス様は微笑みながら、二度、三度と同じ質問をします。「わたしを愛しているか」と。みんなも同じことを何度も聞かれたらどんな気分がするのでしょうか。きっと嫌な気分、相手が自分のことを信じていないんじゃないかと疑ったりするでしょう。ペトロさんも悲しくなりました。そして、実はペトロさんはイエス様が十字架にかかれる時に周りの人にイエス様のことを知っているだろうと言われたときに「知らない」と三度言ったことを思い出しました。イエス様はペトロさんを苦しめるためにこんな質問をしたのでしょうか？そうではありません。イエス様はペトロさんの失敗を知りながら、でもわたしはあなたを愛している。そして、弟子として一生懸命働いて欲しいと言われるのです。「わたしの羊を飼いなさい」と羊飼いとして多くの人に仕えるようにとイエス様はペトロさんをお願いをしました。羊飼いは羊のことをかわいがります。間違った方向に行かないように導いてあげます。その働きをするのです。そして、ペトロさんは自分の弱さを知ったので、他の人が弱さをもっていても優しい心で接することができるでしょう。

わたしたちもイエス様から使命を与えられています。「わたしの羊を飼いなさい」という言葉を通してイエス様の言葉を伝えていく使命をいただきました。そして、その働きをできるのは自分が偉いからではなく、イエス様がわたしたちの弱さを助けてくださるからだと知りましょう。何度も何度もわたしたちは失敗をします。でも、失敗を恐れて何もしないのではダメです。たとえ失敗をしても神さまは赦してくださいます。神さまを愛する心があれば、どんな困難にも負けず、イエス様の言葉を伝えていけることを知りましょう。

★分級への展開

さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

6 7 番

改訂版 5 3 番

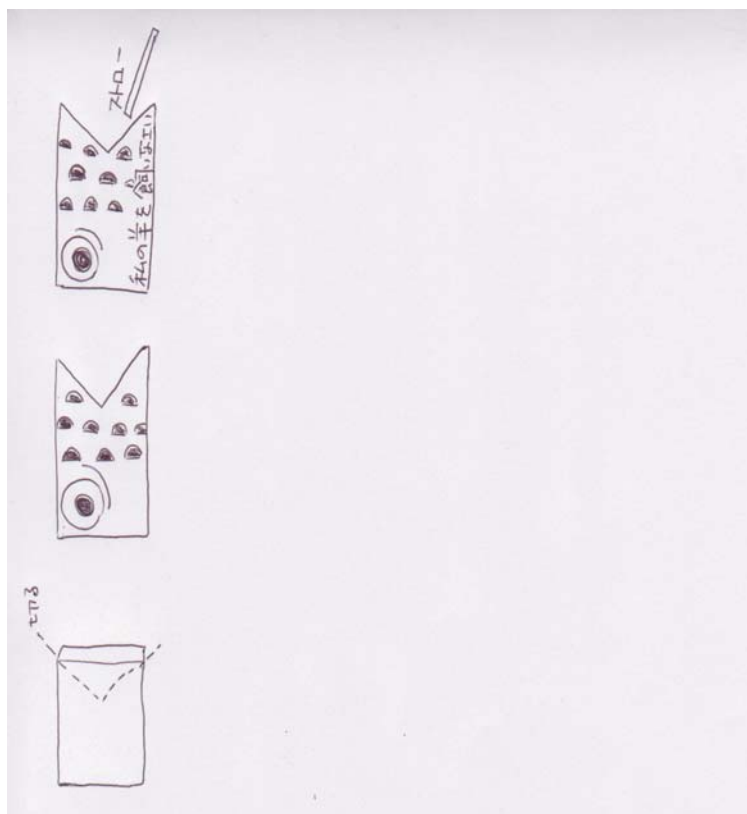
やってみよう

☆み言葉こいのぼりを飛ばそう

<用意するもの>

大きめの封筒、はさみ、ストロー、マジック（色鉛筆）

- ① 封筒の開いてる部分をこいのぼりの尾の形に切る。
- ② こいのぼりの目やひれの模様をつける。
- ③ みことば「わたしの羊を飼いなさい。
- ④ 尾っぽにストローを差し込み吹いて飛ばす。



はなそう

3回も「わたしを愛しているか」と聞かれたペトロの気持ちを考えてみよう。

羊を飼う時、羊のためにどんな世話が必要でしょうか？調べてみましょう。

★今週の聖句

「わたしの愛にとどまりなさい。」

ヨハネによる福音書 15:9

★ねらい

- ・わたしたちが生きていく＝よい実を結ぶことができるのは神さまに、イエス様につながっているからであることを受けとめたい。

★説教作成のポイント

- ・まことのぶどうと言われるにはまことでないぶどうもあることを意味する。わたしたちは純粋なよいぶどうになりたいと願っているが、そうなるためには条件がある。一人の力ではそうなれないことを受けとめて歩みだしたい。

★豆知識

- ・ぶどう－聖書の中の果物としては最も多く出てくる。実に440回に及ぶ。旧約聖書ではイスラエルの民がぶどうの木に譬えられ、働きや生き方が実と譬えられた。
- ・手入れをする－ぶどうを栽培し、良い実を結ばせるためには手間がかかる。実のならない枝は切り捨て燃やすしか何の役にもたない。
- ・つながっている－わたしたちが自分の力でつながっているのではなく、イエス様がつなぎとめてくださっている。栄養分をくださっていることを忘れてはならない。

★説教

教会の礼拝堂にはきれいなお花が飾られています。花瓶に入れられた花は切り花ですね。切り口から水を吸って生きていきますが、長くは生きていられません。花には水だけではなく、土からいただく栄養分が必要なんです。人間も水を飲んでいけばしばらくは生きていけますが、食べ物を食べたり、栄養分をとらないとやせてしまいます。

今日、イエス様はわたしはぶどうの木であると言われる。そして、わたしたちは枝だと言われるのです。想像してみてください。ぶどうの木があり、枝があります。当然くっついていきますね。きっとその先にはぶどうの実が豊かになっていることでしょう。でも、もし、ぶどうの木と枝が離れていたらどうでしょう。枝はしばらくは生きていられてもすぐに枯れてしまいますね。水も栄養分もなくなってしまえば豊かな実も結べません。木と枝がくっついているからこそ、ぶどうの木は豊かな実を結ぶことができるのです。

わたしたちはぶどうの実がおいしそうにできるように、善き人間として成長していかなければなりません。そのために必要なのは栄養分です。体の栄養分だけではなく、心の栄養分も必要です。それは神さまの愛です。イエス様のみ言葉です。それらがなければわたしたちは枯れてしまいます。神さまの愛とみ言葉をいただくために、わたしたちはイエス様につながっていなければなりません。でも、大事なのは自分の力でつながっているだけではなく、イエス様がつなぎ止めてくださっている、イエス様が離されないということを知ることです。「わたしの愛にとどまりなさい。」と言われるイエス様の愛に留まることが多くの方が喜んでくれる実を結ぶ人生になるのです。

09/05/10

★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

73番

改訂版60番

やってみよう

☆お母さんにプレゼント贈ろう

<用意するもの>

マグネットシート（100円ショップでも売っています）、油性マジック、はさみ又はカッター、プレゼント用の袋、リボン

※あらかじめシートを5～6センチ角（1人分）に切っておく。

①マグネットシートに好きな絵を書く

例）お母さんの顔、お母さんの好きな物 など

②絵に沿ってハサミで切ると冷蔵庫マグネットのできあがり

きれいにラッピングして、お母さんに感謝の言葉を添えてプレゼントしましょう。

・お母さんを教会学校に招待して親子で作ってもいいですね。

はなそう

ぶどうの木は、どういうふうに植えられていて、どんなふう to 育つのでしょうか？調べてみよう。

イエスさまの時代のぶどうの木のこと調べられたら、調べてみよう。

“つながっている”というのは、どういう状態でしょうか？

“イエスさまにつながっている”とは、どういうことでしょうか？

★今週の聖句

「互いに愛し合いなさい。」

ヨハネによる福音書 15:12

★ねらい

- ・イエス様はわたしたちのことを「友」と呼んでくださり、その愛の大きさを示されるために十字架へと向かわれたことを覚えたい。

★説教作成のポイント

- ・イエス様が十字架にかかれる前の別れの説教である。ただの愛の倫理規定ではなく、実践を伴った愛の姿がこれから示される。命の大切さを受けとめた上でその命を投げ出しても救おうとしたイエス様の愛の大きさを受けとめたい。

★豆知識

- ・隣人を自分のように愛しなさいーレビ記で示された愛の倫理規定
- ・わたしが愛したようにーイエス様の愛が基準になった。新しい愛の掟。
- ・「神は愛です。愛にとどまる人は、神の内にとどまり、神もその人の内にとどまってくださいます。…愛には恐れがない。完全な愛は恐れを締め出します」(Iヨハネ 4:16-18)

★説教

今からちょうど百年前、北海道の塩狩峠で一人のキリスト者の青年が亡くなりました。客車の連結器が外れて一番最後の車輻だけが坂を降り落ちていきました。ゆっくりとゆっくりと後ろに走り出す車輻の中にいた人たちはとつても怖かったと思います。二十人くらいの方がその車輻には乗っていたのですが、脱線したらみんな死んでしまいます。長野さんという青年は国鉄の職員でしたが、お休みの日でしたが隣の町の教会に行った帰りにその列車に乗っていたので、急いで外に出て、ブレーキをかけました。でも、客車は止まりません。みんな、もうダメだと思った時、突然、客車は止まりました。みんなが良かったと喜んでいても長野さんは戻ってきませんでした。客車は長野さんの体を踏んで止まったのでした。そのことを知ってみんなが涙を流しました。

わたしたちの命は神さまからいただいた大切な命です。かけがえのないものです。一度失ってしまってもう二度と手に入りません。大切にしなければならぬものです。でも、それと同じくらい大切なものもあります。それは「真の友」です。心から信頼できる人です。イエス様と弟子たちの関係は先生と生徒という関係を越えて、イエス様は弟子たちのことを「友」と呼んでくださいました。こんなに嬉しいことはないでしょう。そして、今、わたしたちのことも「友」と呼んでくださいます。イエス様はご自分のことをすべてわたしたちに知らせ、分かち合ってくださいました。そして、友であるわたしたちのために命まで投げ出してくださいます。それが十字架にかかることでした。

どうしてイエス様はご自分の命を投げ出されたのでしょうか。それはわたしたちのことを本当に愛して下さっていたからです。本当の愛は友のために命を捨てるほどの力を持っています。「互いに愛し合いなさい。」とイエス様は言われます。本当の愛を多くの人に伝えましょう。友とは近くにいる人だけではなく、神さまが愛されている一人一人だということを受けとめて。

09/05/17

★分級への展開

さんびしよう

\*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

141番

改訂版108番

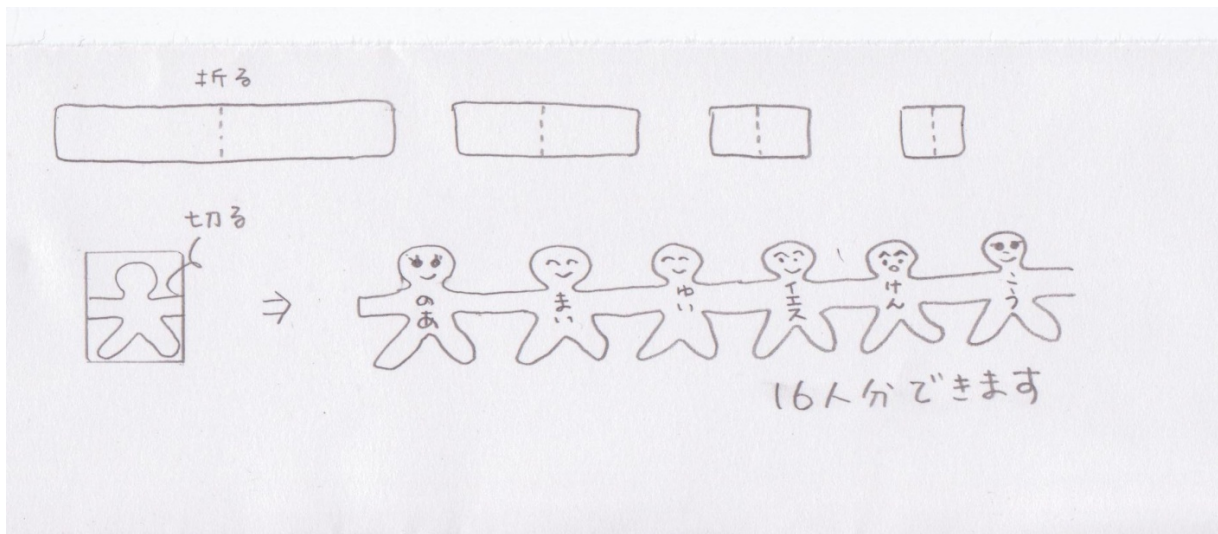
やってみよう

☆イエスさまにつながろう

<用意するもの>

生協のチラシ又は新聞紙をひろげて横長になるように切ったもの。(4分の1くらい)、  
はさみ、マジック

- ① 横長の紙を半分に折る。
- ② もう1度半分に折る。(計4回折る)
- ③ 人間の形にはさみで切る。
- ④ 広げて1人1人にみんなの顔と名前を書く。



はなそう

「互いに愛し合う」って、どういうふうにすることだと思いますか？みんなで話し合ってみよう。

★今週の聖句

「祝福しながら彼らを離れ、天に上げられた。」

ルカによる福音書 24:21

★ねらい

- ・主の昇天がただの別れではなく、新しい始まりであることを受けとめたい。

★説教作成のポイント

- ・ルカ福音書の昇天の記事は二つの場面からなっている。一つは聖霊を送る約束と天に上げられる場面である。どこでこの出来事が起こったのか、そして、その後、弟子たちはバラバラに宣教を始めたのか。主の働きなくして弟子たちの働きはないのである。

★豆知識

- ・ルカ福音書の続きと考えられているのは使徒言行録である。そのため、ルカ24章と使徒言行録1章はイエス様の昇天の記事でつながっている。
- ・ルカ福音書は始まりも神殿で始まり、終わりも神殿である。教会なくして福音の前進はない
- ・45節でイエス様は「彼らの心の目」を開かれる。これまでイエス様と共にいながら、彼らの心の目は開かれていなかったか、または十字架という悲しい出来事のために心の目が閉ざされていたのである。エマオへの道で歩き終え、宿に入った後、一緒に歩いていたのがイエス様だと分かったのも「目が開けた」からであった。

★説教

学校では新しい学年になる時には同じ先生が続くこともありますが、担任の先生が代わりますね。もし、今日から担任の先生はいませんと言われたらみんなはどうやって勉強したらいいか、明日の授業は何か、色々なことで困るでしょう。大切なことを教えてくれる人は必要です。

イエス様と弟子たちにもお別れをしなければならない時が来ました。イエス様は天に昇っていかれ、これから弟子たちは自分で考えて歩いていかなければなりません。前の担任の先生のことを覚えているように、すぐれた指導者であったイエス様が去って行かれることは弟子たちにとって大きな不安となり、心の中にぽっかり穴が開いたような感じで、とまどいを隠すことができませんでした。これからどう生きていったらいいか、みんな悩みました。

もちろん、イエス様は不安の中にいる人たちを放っておかれる方ではありません。イエス様の言葉がたくさん語られた神殿からイエス様は天の神さまの元に帰って行かれますが、約束をしていただきます。「父から約束されたものをあなたがたに送る」と。たとえイエス様がおられなくても大丈夫。勝手に生きるのではなく、イエス様の約束された新しい導き手を受けてから歩みださないと教えてくれました。そして、不安の中にある弟子たちの心を開いてたくさん言葉を教えてくれました。

イエス様は最後にみんなに祝福をしてくださいました。みんなが礼拝で祝福を受けるのと同じです。愛しているあなたに神さまの守りと助けがあります。そうイエス様が宣言されています。一人のように思っても決してイエス様の祝福は離れることはありません。イエス様の愛は変わりません。今日もイエス様の祝福を受けて、新しい歩みをしていきましょう。

09/05/24

## ★分級への展開

### さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

118番

改訂版131番

### やってみよう

☆パラシュートを作ろう

<用意するもの>

ビニール袋（わの部分を持って四角形にしておく・1枚で二人分とれます）、セロテープ、糸（同じ長さ30センチくらいに切っておく・1人4本使います）、油ねんど、アルミホイル、マジック

- ① ビニールにイエス様の顔を書く。
- ② 糸をビニールの4隅にセロテープでくっつける。
- ③ 4本の糸を一つにくくり油ねんどをかぶせるように丸く包む。（重しになります）

※粘土が大きすぎると飛びません。

- ④ねんど部分をアルミ箔で覆います。

「今日はイエス様が天に昇られた日です。イエス様パラシュートを飛ばしてみましよう。」  
予告

来週はペンテコステです。みんなでフルーツポンチを作ります。1人1つずつ入れたいものとエプロンを持ってきましょう。例) りんご、いちご、バナナ、果物の缶詰など

### はなそう

牧師さんは、礼拝の中で祝福をされる時、どういうふうになっているでしょうか？よく見てみよう。

ルカ 24 章 50 節を読んで、牧師さんのするしぐさと何か関係のあることはありましたか？

自分たちの目の前でイエスさまが天に昇られていくのを見て、弟子たちはどんなことを考えていたでしょうか？想像して見ましよう。



★今週の聖句

「父のもとから出る真理の霊が来るとき、その方がわたしについて証をなさるはずである。」 ヨハネによる福音書 15:26

★ねらい

- ・イエス様に代わり、新しい導き手が聖霊降臨を通して与えられる。

★説教作成のポイント

- ・使徒言行録が伝える奇跡的な物語を説明するだけでなく、その出来事を通して新しい歩みが始められていったことを覚えたい。そして、それは不安な中に希望を与えた歩みだしたことを忘れてはならない。

★豆知識

- ・「聖霊」－弁護者、真理の霊、(神の)息、風など様々な訳がなされる。
- ・迫害があった時、人々は「自分は神に奉仕している」と考えるが、それは彼らが神を知らないということである。それを知っていることが驚きや躓きを軽減してくれる。

★説教

「盲導犬カンナ、わたしと走って!」という映画があります。これは北九州の市民マラソンに参加した小百合さんという全く目の見えない女性ランナーと盲導犬の物語です。小百合さんは中学一年生の時に目が見えなくなりました。そして、家族や周りの人々に支えられて、盲学校で勉強して卒業したのです。小百合さんにはいつもカンナという盲導犬がついていました。陸上競技の好きな小百合さんは周りの人たちに勧められてこの五キロを走る市民マラソン大会に出場することになったのです。多くの市民ランナーと一緒に走ることで、うまく走り通せるようにみんなが力を合わせました。北九州盲学校の溝口先生がコースの先導をして、四人のボランティアの女性が盲導犬カンナと小百合さんの前後左右について、共に走るようになりました。号砲と同時に小百合さんは愛犬カンナと一緒に、先生の声に頼りにしながら、一生懸命走りました。道路で応援する人たちもみんな旗を振りながら「小百合さん、カンナちゃん」と声援しました。小百合さんにとってロードレースを走ることは一つの挑戦でした。周りをひっきりなしに通る車やトラックの音は彼女にとって大きな不安なのです。しかし、不安を感じながらも、周りの人々を信じて走り続け、見事三十分五秒というタイムでゴールインしたのでした。小百合さんにとってカンナの導きや多くの人の声援、溝口先生の声などはどれほど心強かったことでしょうか。助けてくれる力の強さを感じる物語ですね。

さて、今日は聖霊降臨祭という新しい歩みの始まりの時です。イエス様はお弟子さんたちとお別れしなくてはなりません。もう一緒にはいられないので、お弟子さんたちはとっても不安でした。でも、そんなお弟子さんたちにイエス様は約束してくださいました。「新しい助け手、聖霊」を与えると。だから、不安にならなくていいと。その約束はお弟子さんたちが神殿にいるとき、聖霊が火のように降ってきて本当のことになりました。お弟子さんたちはもう一人ではありません。ちゃんと導いてくれる存在があるから大丈夫です。そして、これが弟子の働き、教会の始まりになりました。わたしたちが不安時にも必ず聖霊が導いてくれる、助けてくれるという信頼を持って生きていきましょう。

09/05/31

★分級への展開

さんびしよう

\*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

4 2 番

改訂版 9 3 番

やってみよう

☆ペンテコステフルーツポンチを作ろう

<用意するもの>

ナイフ（バターナイフ）、牛乳パックを広げたもの（マナ板として使います）、フルーツポンチを入れる大きめの器またはボール

※必ず、手を洗って始めましょう。持ち寄りにしていますが少し用意しておいたほうがよいかもしれません。

はなそう

弁護者の、「弁護」ってどういう意味でしょうか？「弁護士」ってどういう人のことでしょうか？調べてみよう。

真理の霊の「真理」ってどういう意味でしょうか？調べてみよう。

聖霊はイエスさまの父である神さまのもとからくる弁護者であり、真理の霊であります。聖霊のことが少し分かったかな？イメージできたかな？みんなで分かち合ってみよう。